



# 東京医科歯科大学難治疾患研究所市民公開講座

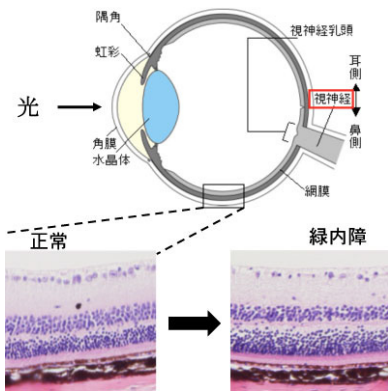
## —最先端生命科学講座シリーズ 第11回—

東京医科歯科大学難治疾患研究所は、「難治疾患に挑む。」をミッションに掲げる研究所であり、2009年には文部科学大臣により難治疾患の全国共同研究拠点に認定されました。がん、心・血管病、神経疾患、骨・関節疾患、感染症・免疫病、生活習慣病など、幅広い領域にわたって研究していますが、本市民講座では、最先端の研究内容を一般の方々にわかりやすく紹介しています。今回は、「緑内障研究」と「感染防御の研究」を2人の講師がご紹介致します。

日時：平成27年2月20日(金)午後7時～9時  
場所：文京シビックセンター4階 シルバーホール

### 講演 1 緑内障研究の最前線

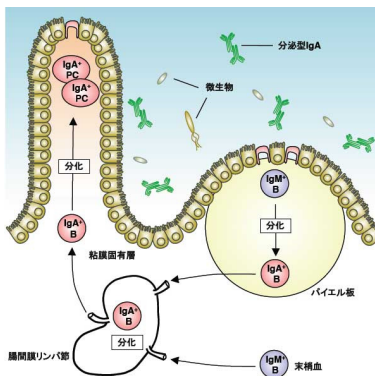
講師：田中 光一



緑内障は網膜神経節細胞が障害され、不可逆的に進行し失明に至る神経変性疾患であり、我が国における中途失明原因の第1位です。40歳以上の有病率は5.0%で、70歳台では8.0%と加齢に伴い増加します。今回は、緑内障研究の現状と新しい治療法の可能性についてご紹介致します。

### 講演 2 粘膜バリア：病原体と戦う免疫システム

講師：手塚 裕之



ウイルスや細菌など、病原体のほとんどは呼吸器や消化器などの粘膜から感染します。これに対抗するため、粘膜では感染を未然に防ぐ“粘膜バリア”が働いています。本講座では、昨今注目されているエボラ出血熱やデング熱ウイルスによる感染症を例にあげながら、“粘膜バリア”と、これを利用した新しいワクチンについてご紹介致します。

皆様のご参加をお待ちしております。(入場無料)

予約を希望される方は文京区の担当まで住所・氏名・電話番号・「最先端生命科学11」を記した往復はがきでお申込み下さい。(〆切:2月10日(火))

(区ホームページからも申込可。〆切を過ぎての申し込みは、電話でお問合せください。)

◎〒112-8555 文京区アカデミー推進課 ☎(5803)1307

共催：学際生命科学東京コンソーシアムは東京医科歯科大学、お茶の水女子大学、学習院大学、北里大学と連携し、地域のみなさまと産官学連携によるイノベーションの推進に貢献します。